

【2026 年冬期 DC 一般出題意図】

大問一：思想史という学問分野において、自分の設定した研究テーマが何を焦点としているのか、またどのような意義を有しているのかを論述させ、当該受験生が博士論文執筆に当たって、どの程度の準備段階にあるかを判定する問題である。なお、先行研究についての的確に把握できているか、博士論文作成に使用する史料を具体的に特定できているかといった点についても評価する。

大問二：当該受験生の史料読解能力、とりわけ近代文語文に対する精通度を判定する問題である。なお、史料に記されている内容の的確な把握はもちろんであるが、史料が記された時代背景への理解や、史料から思想史的な論点を導き出す分析眼の独創性なども合わせて評価する。